

論語教室だより

『寺子屋・こども論語塾』世話人会

第 44 号

2014 (平成26) 年10月18日 (土)

「論 語 塾」

札幌市立発寒東小学校 2年 藤 嶋 果 歩

私が論語塾に行ってみようと思ったのは、おばあちゃんがさそってくれたからです。初めのころは、なにもわからないままおわっていました。でも今は補助テキストや新田先生が、やさしくおしえてくれるので、むずかしい言葉の意味が少しわかってきて、よかったと思っています。

私の好きな章句は、「子曰く、君子は義に喩り、小人は利に喩る」です。意味は、立派な人と言うのは、それがいいことなのか、悪いことなのかで、物事を判だんしますが、未じゅくな人は、利益があるかないかで、物事を判だんしてしまうということです。私がこの章句をえらんだ理由は、論語塾に通う前の私は、きっとそんなとくかできていたと思います。これからもきちんと新田先生の話聞いて、もっと君子のような人間に近づきたいと努力していきます。

大きな声で素読もまだできないし、手もあげられません。でもいつかゆう気を出して、がんばって手をあげてみようと思っています。

坐ぜんは最初足がしびれたり、少し動いたりして、きちんとできませんでした。でも今は動いたりしないで、できるようになりました。まだ完ペキではないけれど正しくできるようになっています。

私は論語塾に通っていて、とってもよかったと思っています。でもやっぱり論語はむずかしいです。でも、楽しいです。

※来月(11月)は、深見理良さん(小1)をお願いします。

第4回懇談会 有意義に終了

9月に今年で4回目の「懇談会」が行われ、大波僧侶を始め38名の塾生・保護者が参加して無事終了しました。今回は事前に塾生・保護者からのアンケート結果を集約したものを基にして、項目ごとに高島世話人会代表の司会で話し合いが進められました。以下、アンケートに記されたもの及び当日話し合われた内容をスペースの関係上、要約して報告します。

◎新田先生の講義について

・新田先生の講義の内容は丁寧でわかりやすい説明なので良く理解できるし、素読も聞きやすく大きな声で言ってくれるので楽しんでできる、といった好意的なものが殆どであった。

◎坐禅について

・心を無にするのは難しいが、気持ちが落ち着き、坐禅後のすがすがしさに感謝、といった感想が大半であったが、中には楽しい感覚にはならず、足がしびれて少々辛いものがある、という人もいた。

・坐禅は何のためにするのか?という塾生の質問に、大波僧侶は、何のためでもない、ただ座るのが坐禅です。ストレス解消や集中力が増すというのは副産物。坐禅の基本時間は40分です。と話された。

◎「論語教室だより」について

・新田先生の書かれる言葉(文章)と塾生の文章に感動している。また、塾生の書いた文章を本人が前に出て読み、新田先生がコメントを加える形式はとても素晴らしいと思う。今後も続けてほしい。

◎「塾生・保護者向け補助テキスト」について

・新田先生の苦心の跡が読み取れる、特に「新田先生の独り言」は大変ためになるので増加してほしい。
・「仮名論語」のテキストだけでは、わかりにくい「現代日本語訳」と「まとめ」で助かっている。

◎受付について

・いつも親切丁寧に対応してくれ、挨拶・声掛けもしてくださるので嬉しく思う、といった感謝の内容が殆どであった。

◎その他

・住所録の公開は希望者のみでよいのでは?との意見に対しては今後、尊重したいと思います。
・札幌市の「サポートほっと基金」に登録すると、支援が受けられる可能性があるのでは?との助言を頂いたことに感謝しています。
・今後の質問や意見に対しては、10月から「みんなの声」の箱を用意しますので投函願います。
・宿題をもっと出してほしい、との要望がありましたので負担にならない程度に出したいと思っています。